

「できマウス S2。」ユーザーマニュアル Ver4 対応

2019.03.04→2022.02.22

お好みの外部スイッチで、Windows iOS/iPadOS macOS Android を利用したい！その願いのお手伝いができればうれしいです。



「できマウス。」プロジェクト
<https://dekimouse.org/wp/>

目次

1. 「できマウス S2。」の概要
2. 「できマウス S2。」の各部の名称
3. 「できマウス S2。」の仕様
4. 「できマウス S2。」のモード切替とモードの確認
 - 4-1. モード切替
 - 4-2. モードの確認と機能
5. 「できマウス S2。」Windows・mac・iDevice・Android で使う
 - 5-1. マウスキー1個モード
 - 5-2. 「できマウス S2。」を GamePad として利用する
6. 「できマウス S2。」を macOS で使う
 - 6-1. Mac のスイッチコントロールで使う
 - 6-2. Mac の Switch XS で使う
7. 「できマウス S2。」を iOS/iPadOS で使う
 - 7-1. iOS/iPadOS のスイッチコントロールで使う
 - 7-2. iOS/ iPadOS でトーキングエイドや DropTalk を外部スイッチで使う
 - 7-3. iOS/iPadOS で Space/Enter/→/←のキーを利用するアプリを使う
8. 「できマウス S2。」で iOS/iPadOS のマウスポインタを操作する
 - 8-1. 「できマウス S2。」のマウスキー1 個モードにします
 - 8-2. iOS/iPadOS 側の設定
 - 8-3. マウスポインタを操作する各種モード
9. 視線入力での利用
10. 「できマウス S2。」の iOS/ iPadOS における特殊な機能
11. 「できマウス S2。」のオプション(別売品)
12. 電話サポートを受けたい。
13. GamePad モードの動作確認方法
14. 「できマウス S2。」製品の確認方法
15. USB 変換ケーブル接続手順

対応している OS 製品

Windows macOS iOS(純正 USB アダプタ必要)
Android マウス機能・スイッチアクセス対応
(USB 変換アダプタが必要)

文中の記号

SW1 から SW4 とは、「できマウス S2。」のスイッチ挿入口の数字と同じです。

 Windows のなかでも Windows10 以降
 Mac の操作に関する事項
 iOS/iPadOS の操作に関する事項

最新版マニュアルはホームページからダウンロードしてご覧ください。

<https://dekimouse.org/wp/kiki/dekimouses2> から PDF でダウンロードできます。

「できマウス S2。」は、皆様の愛ディアで育てていただけたら幸いです。不具合などございましたら、ご連絡とご協力をよろしくお願いいたします。

Windows は Microsoft 社、Mac iPad は Apple 社、Android は google 社の登録商標です。

1. 「できマウス S2。」の概要

「できマウス S2。」は、さらにマウスやキーボードの機能も提供いたしますので、一台三役といった製品となっています。

タッチ PC ではタッチするとマウスカーソルが消えますが、その再表示機能もあります。

Windows では、HeartyLadder や Peat のスイッチとしてご利用できます。簡単操作センターのスクリーンキーボードのオートスキャン機能も利用できます。視線入力 of 決定スイッチとしても利用できます。

iOS/iPadOS や macOS のスイッチコントロールやマウスカーソル操作が可能です。SwitchXS もご利用できます。

2. 「できマウス S2。」の外観



側面に拡張コネクタがあり、オプションケーブルでスイッチを8個まで増設可能。電源供給も可能。

スイッチ接続部には、4個までのスイッチを接続することができます。
また、このジャックに挿入したスイッチを ON のまま USB に接続しますと、操作モードや操作ブザー音の設定ができます。

3. 「できマウス S2。」の仕様

1. 名称	「できマウス S2.」
2. 機能	スイッチやセンサーを IT 機器に接続する仲立ちをします。 PC によりますが「できマウス S2.」に接続したスイッチで Sleep から復帰できます。(iPhone は純正アダプタ、Android 携帯電話は USBtypeC の場合は、USBtypeC アダプタの利用で復帰可能) DeepSleep モード搭載で省電力。 タッチタブレット PC は Windows も Android もタッチしてしまうとマウスカーソルが消えますが、「できマウス S2.」に接続したスイッチに触れますと、マウスカーソルが再表示されます。

	バージョンアップが可能。バージョンアップのお知らせはホームページにてお知らせいたします。 本体側面の拡張コネクタで、スイッチ 8 個まで対応と外部への電源出力も可能（オプション扱い）
3. モード	GamePad モード:従来の「できマウス。」互換です。Windows では HeartyLadder・Peat などの操作や Windows のスクリーンキーボードのスクラン操作ができます。視線入力スイッチ BOX としても利用可 (Miyasuku・Hearty)。 macOS ではスイッチコントロールや SwitchXS の操作ができます。 マウスキー1個モード:スイッチ1個の長短 ON の組み合わせで、Windows や macOS でマウスやキーボード機能を利用できます。 iOS/iPadOS13 以降で AssistiveTouch 利用のマウス対応。 視線入力スイッチ BOX としても利用可 (Orihime eye)。 スイッチアプリ A モード:Space / Enter / →/ ←で利用する iOS アプリで利用できます。(スイッチコントロールでも利用可) スイッチアプリ B モード:Space / h / k / l(エル) DropTalk やトーキングエイド for iPad で利用できます。(スイッチコントロールでも利用可) スイッチ4個モード:iOS や macOS のスイッチコントロールに対応(スイッチの長押しに対応) マウス回数モード:AssistiveTouch 利用のマウスカーソル対応 (iOS/iPadOS13 以降)
4. 電源	不要(USB 端子から供給されます。) 10mA
5. 大きさ	横35mm 縦75mm 高12mmのプラスチックケース(黒)に入っています。ケーブル先端に USB 端子が付いています。
6. 重さ	約 30g
7. 安全対策	ポリスイッチ(再生可能なヒューズ)を搭載
8. USB 規格	USB2.0 準拠・電源管理対応(PC の Sleep からの復帰が可能)・VendorID 取得
9. 対応 OS	Windows10/8.1/7/ iOS/iPadOS/macOS/Android6.0 以降
10. コネクタ	スイッチ端子は4個。側面にスイッチ8個と電源供給用の拡張コネクタが付いています。ピン配置を公開しています。
11. 付属品	なし。「できマウス。」の仲間たち (GamePad モードで Windows のみ対応 無料ダウンロード可能)
12. 別売品	「できレバースイッチ3S。」・マイクロ USB ホスト変換アダプタ

4. 「できマウス S2。」のモード切替とモードの確認

「できマウスS2。」をはじめて Windows のUSB端子に挿入の際は、出荷状態のまま挿入し、ドライバーが組み込まれる約 10 から 20 秒間は、USB端子から抜かないでください。iDevice は関係ありません。

4-1.モード切替 PPS スイッチではモード切替設定ができません(PPS スイッチは長押し信号が出力されないため)

SW2から SW4 までのジャックに挿入したスイッチを ONしながら電源の入ったPCや携帯端末の USB ポートに挿入することで、モードが切り替わります。○印の中の数字は、モードの状態を示すブザーの音の回数です。電源 OFF でも、モードは保持されます。

【注意】操作モードを決めたら、基本的に挿入したスイッチを SW1 に戻してください。

SW 2 : GamePad モード①/マウスキー1個モード②/スイッチアプリ A モード③と順に入れ替わります。

SW 3 : スイッチ 4 個モード④/スイッチアプリ B モード⑤/マウス回数モード⑥と順に入れ替わります。

SW 4 : 操作ブザー音 ON/OFF を切り替えます。(GamePad モードではスイッチを操作してもブザー音はなりません)

ブザー音 OFF でも、操作モード確認時にはブザー音がなります。

4-2.モードの確認と機能

「できマウス S2。」に接続したスイッチに触れずに、電源の入った PC や携帯端末の USB 端子に挿入するとブザー音がなります。

その音の回数でモードを知ることができます。本体に貼付のシールの丸印の数字と音の回数が同じです。

ピッ1回:旧「できマウス。」互換モードで、GamePad として機能します。Windows のスクリーンキーボードの操作ができます。

視線入力 miyasukuSW や HeartyAi や TobiiTC スキャンの決定キーとして機能します。

macOS のスイッチコントロールや SwitchXS のスイッチとして機能します。

ピッ2回:マウスキー1個モードとして機能します。スイッチを①に接続して利用します。マウスキー1個モードの表をご覧ください。

スイッチを SW2 に挿入するとマウスのクリック信号が、SW4 に挿入すると、視線入力 OriHimed eye+SW の決定キーとして機能します。

ピッ3回:スイッチアプリ A モードとして機能します。iOS/iPadOS や macOS のスイッチコントロールでも機能します。

Space/Enter/→/←の信号が各端子から出力されます。Windows のパワーポイントのスライドショーでも利用できます。

ピッ4回:スイッチ4個モードとして機能します。iOS や macOS のスイッチコントロールの長押しに対応します。

↓ / ← / ↑ / → の信号が各端子から出力されます。

ピッ5回:スイッチアプリ B モードとして機能します。iOS/iPadOS や macOS のスイッチコントロールでも機能します。

ドロップトークやトーキングエイド for iPad で利用できます(スイッチコントロール OFF で利用します)。

Space / Enter / k /l(エル)の信号が各端子から出力されます。

Android のスイッチアクセスでも利用できます。

ピッ6回:マウス回数モードとして機能します。PPS スイッチで操作できます。マウス回数モードの表をご覧ください。

*「できマウス S2。」自身が Sleep から起きる際には、まれにピッ 5 回以上鳴る場合があります。その後、上記の1回から 6 回の音が鳴ります。

5. 「できマウス S2。」を Windows・mac・iDevice・Android で使う

5-1. マウスキー1個モード（長短 On が難しい場合は、短 On だけでも操作できます）

マウスキー1個モードに設定し、SW1 に接続したスイッチの長短 ON の組み合わせで操作します。

SW2 に接続したスイッチは、マウスの左ボタンの機能を有します。スイッチを SW4 は OriHimed eye+SW の決定キーとして機能します。

iOS13 や iPadOS13 からマウスがサポートされました。8.「できマウス S2。」で iOS/iPadOS のマウスポインタを操作するをご覧ください。

マウスキー1個モード（スイッチ長短で操作 0：短 ON 1：長 ON） 10 は Windows10 のみ機能				
No.	操作	項目	カーソル移動中	カーソル停止中
01	0	カーソル移動	90 度方向転換しながらカーソル移動します。	
02	00	カーソル速度/マウスボタン	超低速移動/ノーマル移動	左ダブルクリック
03	000	カーソル速度/スクロール	高速移動（0 でノーマル速度）	上下スクロール 10
04	1	マウスボタン	停止またはドラッグ解放	マウス左クリック
05	01	マウスボタン	マウス右クリック（Android 携帯では前に戻る機能となる）	
06	001	矢印キー	右矢印キー	
07	0001	Win+S 10	検索	
08	00001	Esc	Esc キー	
09	10	Space	Space キー	
10	010	矢印キー	上矢印キー	
11	0010	Win+U 10	簡単操作センター表示	
12	11	カーソル移動/ドラッグ	180 度反対方向へ移動	ドラッグ開始
13	011	矢印キー	下矢印キー	
14	0011	TAB	TAB	
15	100	矢印キー	左矢印キー	
16	101	PageDown	PageDown	
17	0101	HOME	iOS iPadOS と Android で機能	
18	110	PageUp	PageUp	
19	111	Cortana 起動 10	Cortana の ON/OFF（マイクも自動 ON）コルタナの設定が必要	
28	1000	Ctrl+A	全選択	
20	1001	Ctrl+C	コピー	

21	1010	Ctrl+V	貼り付け
22	1011	Ctrl+X	切り取り
23	1100	Ctrl+Y	やり直しのやり直し
24	1101	Ctrl+Z	やり直し
25	1110	Ctrl+Alt+K	スクリーンキーボード表示 (App にショートカット設定が必要)
26	01110	Win+TAB	タスク一覧
27	1111	Win+A	アクションセンター表示 (右からスワイプ)
28	10000	カーソル確認	マウスカーソルデスクトップの左上隅に移動 (カーソル行方不明用)

5-2. 「できマウス S2。」を GamePad(「できマウス。」互換)として利用する

1. 「できマウス。」の仲間たち(ダウンロード版)をインストールして、「できマウス S2。」にマウスやキーボードの機能を与えます。
2. Windows の簡単操作センターのスクリーンキーボードのオートスキャンで利用することができます。
3. HeartyLadder や Pete の入力機器として利用することができます。MacPC ではスイッチコントロールや SwitchXS の操作ができます。
4. 視線入力 of 決定スイッチとして利用できます。(視線入力についてを参照)

6. 「できマウス S2。」を macOS で使う Mac

8-3. マウスポインタを操作する各種モードも利用できます。

6-1. Mac のスイッチコントロールで使う

「できマウス S2。」をスイッチ4個モードか GamePad モードに設定したのち、スイッチを SW1 に戻します。Mac に接続した際にキーボード設定アシスタントが表示した場合は、無視して閉じてください。

システム環境設定からアクセシビリティ/スイッチコントロール/スイッチと進みます。

SW1から SW4 にスイッチを接続してスイッチコントロールを利用する場合は、+を選択し、SW1 に接続したスイッチを ON し、名前を付けてアクションを設定します。右図の例は、SW1 と SW2 を設定した例です。

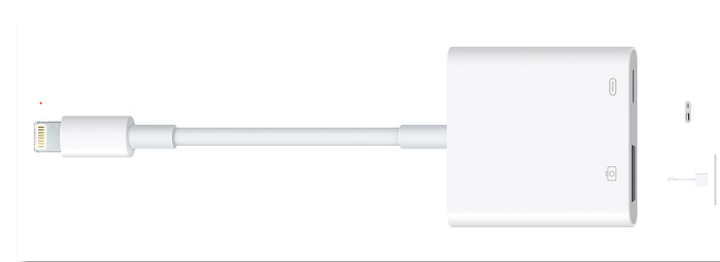
SW1 から SW4 まで利用でき、長押しもサポートしております。一般に戻ってスイッチコントロールを有効にします。



6-2.Mac の SwitchXS で使う

「できマウス S2。」を GamePad モードに設定したのち、スイッチを SW1 に戻します。

SwitchXS の入力機器を GamePad あるいは JoyStick を指定します。



Lightning - USB3 カメラアダプタ

7. 「できマウス S2。」を iOS/iPadOS で使う

7-1.iOS/iPadOS のスイッチコントロールで使う

7-1-1.準備するもの

iOS/iPadOS 機器のコネクタによって異なります。Lightning の場合は、Apple 純正の Lightning - USB3 カメラアダプタ(型番 MK0W2AM/A)が必要です。「できマウス S2。」をカメラアダプタの USB 端子に挿入し、iPad 付属の充電ケーブルをカメラアダプタの Lightning コネクタに挿入しますと iPad の Sleep からの復帰ができます。4個のスイッチ接続箇所のどこでも復帰可能です。

iOS 機器のコネクタが USB-typeC の場合は、「できマウス S2。」のケーブル先端に typeC 変換アダプタを接続してください。

7-1-2.設定方法

「できマウス S2。」をスイッチ4個モードにします。(タッチのマウスキーは OFF にしてください)

iOS の設定/(一般)/アクセシビリティ/スイッチコントロール/スイッチと進みます。

スイッチの項で新しいスイッチを追加/外部と選択します。アクティベートしてくださいと表示します。

SW1 に接続したスイッチを On して、名前(例 DM4-1)を付けて保存し、アクションを選択します。

スイッチ1個以上使用可能な場合は、同じように、SW2 から SW4 の設定を行ないます。

アクション設定では、**長押し**もサポートしております。(長押しを有効にしますと、iDevice の反応がワンテンポ遅れるようになります。OS の仕様です。)

SW1 から SW4 の出力は ↓ ・ ← ・ ↑ ・ → となります。

スイッチコントロールでは、スイッチアプリ A モードやスイッチアプリ B モードでもアクション割り当て(長押し非対応)が可能です。



7-2.iOS/iPadOS でトーキングエイド for iPad や DropTalk を外部スイッチで使う

7-2-1. 準備するもの

上記の 7-1-1 と同じです。

7-2-2. 設定方法

「できマウス S2。」をスイッチアプリ B モードにします。iOS/iPadOS のスイッチコントロールは OFF にします。

トーキングエイド for iPad の設定では外部スイッチをオートスキャン、スイッチ A がスペース、スイッチ B がhになっていることを確認します。

DropTalk の設定では、外部スイッチを使うに設定し、各スイッチテキスト欄をアクティブにして、「できマウス S2。」に接続したスイッチを SW1 から順に On しますと、設定キー（半角）が表示されます。

SW1 から SW4 の出力は Space・h・k・l(エル) となります。

7-3. iOS/iPadOS で Spase/Enter/→/←のキーを利用するアプリを使う

7-3-1. 準備するもの

上記の 7-1-1 と同じです。

7-3-2. 設定方法

「できマウス S2。」をスイッチアプリ A モードにします。iOS/iPadOS のスイッチコントロールは OFF にします。

8. 「できマウス S2。」で iOS/iPadOS のマウスポインタを操作する **iOS**

8-1. 「できマウス S2。」のマウスキー1 個モードにします。(接続して音が2回)

準備するものは、上記 7-1-1-と同じです。「できマウス S2。」を接続します。

8-2. iOS/iPadOS 側の設定

8-2-1.設定/アクセシビリティ/タッチと進み、AssistiveTouch を ON にします。

AssistiveTouch を”オン”にできない場合は、
スイッチコントロールを”オフ”にします。 [図 8-2-1]

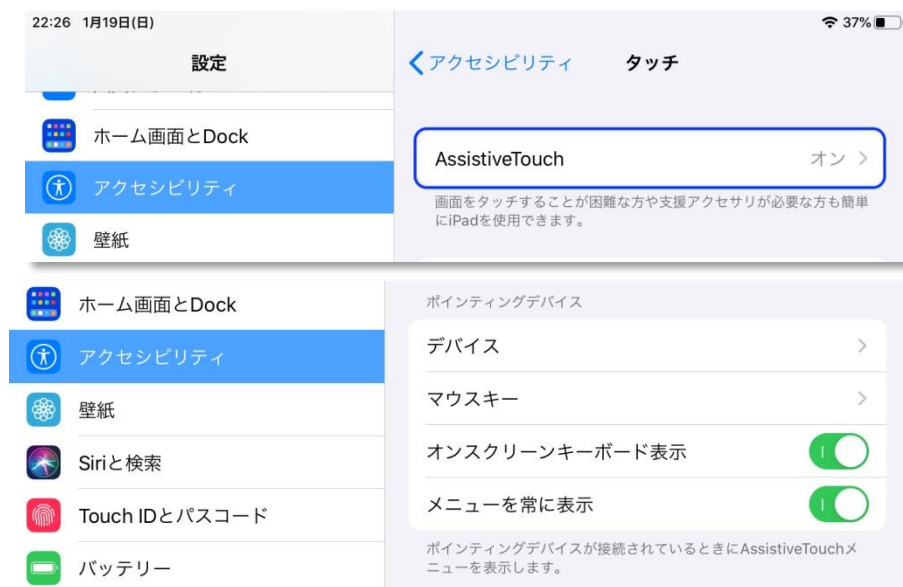
8-2-2.AssistiveTouch を選択し、下の方に表示のデバイスを
選択します。

”メニューを常に表示”はお好みで構いません。

メニューの透明度も設定があります。

“オンスクリーンキーボードの表示”を緑にしてください。

[図 8-2-2]



8-2-3.「できマウス S2.」を接続します。

接続済み装置欄から DekimouseS2 を選択します。

[図 8-2-3]



8-2-4.DekimoseS2 がマウスとして認識されボタン表示

1から3までが表示されます。

OS バージョンで表示しない場合もあります。

8-2-5.ボタン 6 まで認識させましょう。

[図 8-2-5]

マウスキー回数モードにします。

“追加のボタンをカスタマイズ”を選択すると、ボタンをカスタマイズの窓が開きます。「できマウス S2.」の1番に接続したスイッチを下記のように ON の回数で設定できます。

2回:ボタン1、3回:ボタン2、4回:ボタン4、5回:ボタン5、6回:ボタン6

ボタン3のみはマウスキー1個モードにして3回 ON で割当可能です。

ボタン1と2は図のように設定します。ボタン3以降はあとで割り当てができます。



8-2-6.マウスポインターの大きさを設定します。

アクセシビリティ/ポインタコントロールと進みます。

ポインターの形状は丸で、その大きさを設定できます。

ポインターの色も設定できます。

[図 8-2-6]

一定時間マウスポインター操作をしないと非表示も可能です。

iOS/iPadOS13.3 の場合は、AssistiveTouch に設定があります。



8-2-7.必要により、滞留コントロールを設定します。

スイッチの操作をしないで、マウスの左ボタン(決定ボタン)を一定の時間で自動的におこないたい場合に滞留コントロールをONにします。このとき、AssistiveTouch メニューのカスタマイズの案内窓が表示されますが、キャンセルで抜けて構いません。

ホットコーナーを利用する際も、滞留コントロールを ON にします。

滞留コントロールを ON にする場合は、時間も設定します。 [図 8-2-7]



8-2-8.滞留コントロール使う場合は、動きの許容範囲も設定します。

ポインターがこの円の範囲内で移動しても、停止と判定され滞留で設定した時間でアクションが発生します。

[図 8-2-8]



8-2-9.ホットコーナーを利用する

ホットコーナー(画面の四隅)のアクションを設定します。

「できiPad2。」Ver2 では、ホットコーナーにポインター素早く移動する機能もあります。

滞留時間が経過すると、“ホットコーナー”で設定したアクションが実行されます。 [図 8-2-9]

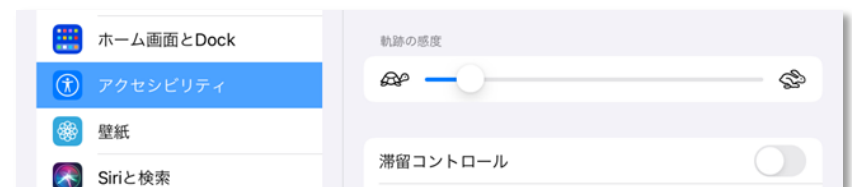


8-2-10.マウスポインターの速さを中間に設定

設定/アクセシビリティ/タッチ/AssistiveTouch/と進んで”軌跡の感度”で設定します。

中央に設定します。あとで、各自に合わせて調整します。

[図 8-2-10]



8-3. マウスポインタを操作する各種モード

「できマウス S2。」をマウス回数モードまたは、マウスキー1個モードにします。iOS/iPadOS では AssistiveTouch を ON にします。

利用者ご自身で、マウス操作とスイッチコントロールを切替て操作できます。表の***印の機能だけでも操作可能**

「できマウス S2。」の SW1 にスイッチを接続して利用します。マウス操作が困難な場合に、1個のスイッチ操作でポインタを動かします。

ユーザー定義は、iOS/iPadOS13 以降タッチ/AssistiveTouch/デバイスで「できマウス S2。」を選択すると定義可能になります。

8-3-1. 短 On のみで操作(マウス回数モード) 注)macOS でも利用可 iOS/iPadOS のアイコンのドラッグはできません

マウス回数モードに設定したのちに、SW1 に接続したスイッチの ON の回数で操作します。

マウス回数モード ピエゾスイッチも利用可能 SW1 に接続したスイッチの ON の回数で操作します。					
No	回数	項目	カーソル移動中		カーソル停止中
* 01	1	カーソル移動	90 度方向転換しながらカーソル移動します。		
* 02	2	カーソル停止/左ボタン	停止してドラッグ解放		左ボタン
* 03	3	カーソル移動反転/右ボタン	反対方向に移動		右ボタン
04	4	HOME ボタン/ボタン 4	HOME ボタン	iOS	ボタン 4 (ユーザー定義) iOS
05	5	カーソル低速移動/ボタン 5	低速移動		ボタン 5 (ユーザー定義) iOS
06	6	キーボード表示・非表示/ボタン 6	キーボード表示非表示	iOS	ボタン 6 (ユーザー定義) iOS
07	7	左ボタン長押し/ドラッグ開始	左ボタン長押し	iOS	画面ドラッグ開始 注)
08	8	スイッチコントロール切替	スイッチコントロール操作 Space キー/マウス回数モードに切り替える		
09	9	機器を Sleep にして自分も Sleep	iDevice を Sleep にして「できマウス S2。」も Sleep iOS		

8-3-2. 長短 On で操作(マウスキー1個モード)

マウスキー1個モードに設定したのちに、SW1 に接続したスイッチの長短 ON の組み合わせで操作します。

マウスキー 1 個モード（スイッチの長短で操作 0：短 ON 1：長 ON ） iOS/iPadOS13 以降で機能					
	No.	操作	項目	カーソル移動中	カーソル停止中
*	01	0	カーソル移動	90 度方向転換しながらカーソル移動します。	
	02	00	カーソル速度/マウスボタン	超低速移動/ノーマル速度に戻す	左ダブルクリック
	03	000	カーソル速度/	高速移動（戻すには、0）	ボタン 3（ユーザー定義） iOS
	04	0000	（4 回）	HOME ボタン iOS	ボタン 4（ユーザー定義） iOS
*	05	1	マウスボタン	停止とドラッグ解放	マウス左クリック

*	06	01	マウスボタン	マウス右クリック			
	07	11	カーソル移動/ドラッグ	180 度反対方向へ移動		ドラッグ開始	
	08	101	PageDown	ページダウン（1 で停止）		行スクロールダウン	
	09	110	PageUp	ページアップ（1 で停止）		行スクロールアップ	
	10	10000	カーソル確認	マウスポインタ左上隅に移動			
	11	00000	（5 回）	左ボタン長押し	iOS	ボタン 5（ユーザー定義）	iOS
	12	000000	（6 回）	キーボード表示非表示	iOS	ボタン 6（ユーザー定義）	iOS
	13	00000000	（8 回）	スイッチコントロール操作 Space キー/マウス回数モードに切り替える			
	14	000000000	（9 回）	iDevice を Sleep にして「できマウス S2。」も Sleep			

9.視線入力での利用

「できマウス S2。」は視線入力の決定スイッチのインターフェイスとして利用できます。

視線入力ソフト起動前に、「できマウス S2。」を USB 端子に挿入し、視線ソフトの入力デバイスの設定をおこなってください。

miyasuku や HeartyAi や TobiiTC スキャンは、GamePad モード(GamePad の動作確認を参照)

OriHimed eye+SW では、マウスキー1個モードでスイッチを SW4 に挿入で、ご利用いただけます。

10.「できマウス S2。」の iOS/iPadOS における特殊な機能

スイッチアプリ A モードとスイッチアプリ B モード/スイッチ4個モードでは次の機能があります。

SW2 に接続したスイッチを長押し続けるとブザー音の回数が増加します。その回数で外部スイッチを OFF すると下記の機能となります。

ブザー音1回:スクリーンキーボードの表示/非表示

ブザー音2回:HOME 機能

ブザー音3回:トリプル HOME

ブザー音4回:iOS/iPadOS 機器を Sleep し、「できマウス S2。」も Sleep

11.「できマウス S2。」のオプション（別売品）

11-1.「できマウス。」の仲間たち(Windows のみ ダウンロード版)

「できマウス S2。」あるいは、「できマウス。」シリーズのユーザー様は、ダウンロード版が無料で入手できます。

Windows で GamePad モード以外や視線入力でのご使用の際は、ダウンロードは不要です。

「できマウス。」の仲間たちの内容は右記サイトからご覧ください。<https://dekimouse.org/wp/app/>

GamePad モードでスイッチにキーやマウスの機能を自由に割り当てが可能です。設定内容に名前を付けて保存できます。
スクリーンキーボードを選択することができない場合があります。そのようなとき、そのアプリを**管理者モードで起動**すると機能してくれます。
自動スタートさせるには、**タスクスケジューラーに登録**してください。参考サイト <https://dekimouse.org/wp/?p=10912>

11-2.「できレバースイッチ3S。」

「できマウス S2。」の側面の拡張コネクタにケーブルを挿入します。スイッチとの対応は、「できレバースイッチ3S。」の説明書をご覧ください。

11-3.USB ホスト変換アダプタ

PC の USB 端子がマイクロ USB や typeC の場合は、変換アダプタが必要になります。
携帯端末に接続の場合は、ホスト機能付きのアダプタが必要となります。

電話サポート



12.電話サポートを受けたい

ホームページのサポート予約サイトからお問い合わせください。ご希望の日時をメールにて確認後、こちらからお電話いたします。
https://dekimouse.org/wp/dekimouse_support_yoyaku/

13.GamePad モードの動作確認方法 (Windows10)

手順1. 設定からデバイスを選択します。



手順2. デバイスとプリンターを選択します。

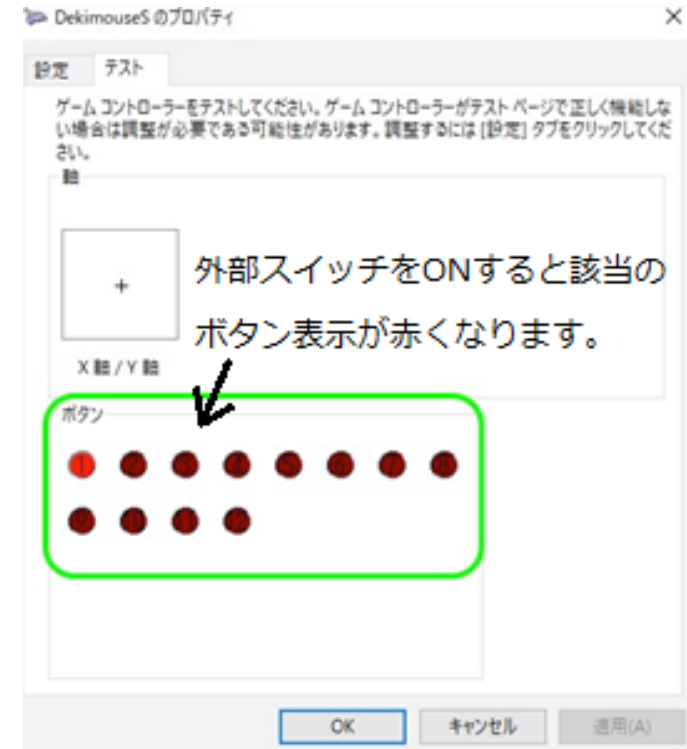
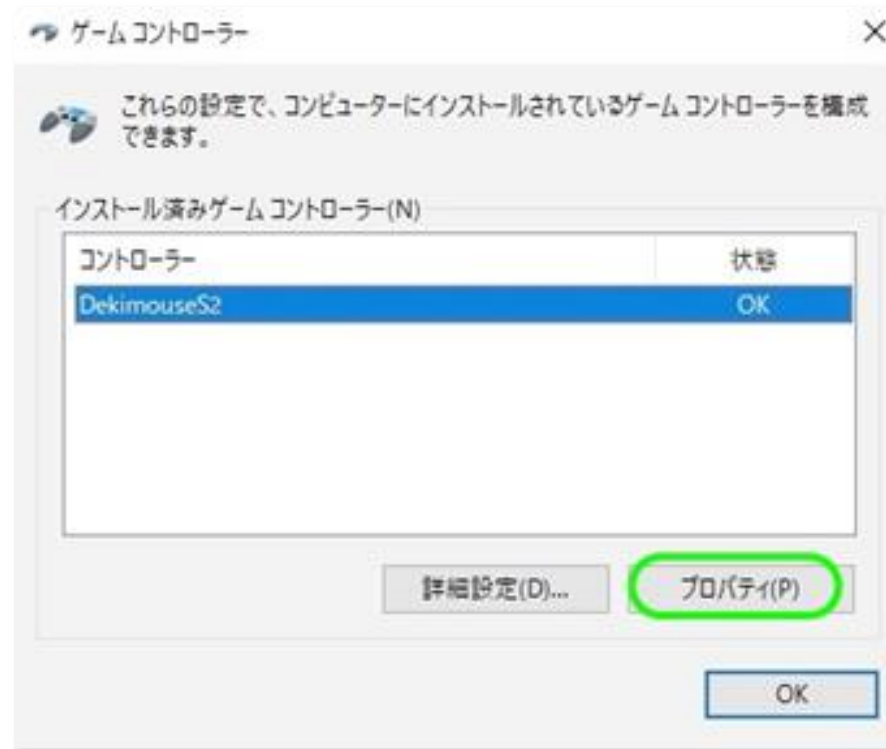


手順3. 「できマウス S2。」を右クリックメニューでゲームコントローラの設定を選択。



手順4. プロパティを選択します。

手順5. 「できマウス S2。」に接続したスイッチを ON すると該当の番号が赤く表示します。



もし、赤く表示しない場合は、接続スイッチの挿入を確認します。それでも機能しない場合は、手順2に戻り、デバイスの削除を行い、あらためて手順1から操作します。

14. 「できマウス S2。」製品の確認方法

本体ケース表面に製品名のシールに記載があります。接続した機器のデバイス一覧で、DekimouseS2 と表示されます。バージョンはシリアル番号の最上位の数字です。

15. USB 変換ケーブル接続手順

15-1.Windows の場合

Windows を起動させます。起動後に下記の手順で挿入します。

PC 本体に USB 変換ケーブルを挿入します。5秒ほど経過後に、「できマウス S2。」を変換ケーブルに挿入します。

出荷時の状態では、「できマウス S2。」からブザー音が1回鳴ります。

15-2.iPhone・iPad の場合

IODevice を起動します。パスワードなど画面ロックを解除します。

本体に USB 変換ケーブルを挿入します。5秒ほど経過後に、「できマウス S2。」を変換ケーブルに挿入します。

出荷時の状態では、「できマウス S2。」からブザー音が1回鳴ります。

充電用 Lightning コネクタ付きの場合、充電ケーブルは、「できマウス S2。」からブザー音が鳴ってから挿入します。

このマニュアルは <https://dekimouse.org/wp/kiki/DekimouseS2/> から PDF でダウンロードできます。

「できマウス S2。」が IT 機器を操作する際の入力支援機器として、選択肢の一つに加えていただけたらうれしいです。

「できマウス。」プロジェクト
<https://dekimouse.org/wp/>
Tel 049-288-1312
fax 049-288-1323
info@dekimouse.org



トップページ

